

『ハイスコア！共通テスト攻略 数学Ⅰ・A 改訂版』

お詫びと訂正

お客様各位

『ハイスコア！共通テスト攻略 数学Ⅰ・A 改訂版』（第1刷，第2刷）において，下記誤りがございました。

深くお詫び申し上げますと同時に，下記の通り訂正の上，ご利用をお願いいたします。

【訂正箇所】 本体 p.108 類題 4 (3) 空欄 テ の式

誤) $\frac{r}{R} = \text{テ}$

正) $\frac{r}{R} < \text{テ}$

【訂正箇所】 別冊解答 p.11 類題 3 (2) (ii)

誤) これを x, y で表すと

$$x \leq \frac{3}{2}y \text{ または } y \leq \frac{3}{2}x \text{ (③)}$$

$x \leq y$ のとき

$$y \leq \frac{3}{2}x$$

$x > y$ のとき

$$x \leq \frac{3}{2}y$$

正) これを x, y で表すと

$$\left[x \leq y \text{ かつ } y \leq \frac{3}{2}x \right] \text{ または } \left[x > y \text{ かつ } x \leq \frac{3}{2}y \right]$$

$$\therefore x \leq \frac{3}{2}y \text{ かつ } y \leq \frac{3}{2}x \text{ (②)}$$

$$x \leq y \leq \frac{3}{2}x \text{ または } \frac{2}{3}x \leq y < x$$

より

$$\frac{2}{3}x \leq y \leq \frac{3}{2}x$$

【訂正箇所】 別冊解答 p.11 類題 3 (2) (iii) ページの下から 3 行目

誤) このうち， $x \leq \frac{3}{2}y$ をみたすものは

正) このうち， $y \leq \frac{3}{2}x$ をみたすものは

【訂正箇所】別冊解答 p.31 類題 4 (1) 5 行目以降

誤) 確率が $\frac{1}{220}$ となるのは、同じ色の玉を 3 個取り出したときであり、このときに限る。よって、白色の玉を 3 個取り出したとき ($X=9$ のとき) の他、赤色の玉を 3 個取り出したとき ($X=3$ のとき)、青色の玉を 3 個取り出したとき ($X=6$ のとき)、黒色の玉を 3 個取り出したとき ($X=-3$ のとき) があるから、 $X=m$ となる確率が $\frac{1}{220}$ となるような整数 m は、 $m=9$ 以外に **3 個** 存在する。

正) 確率が $\frac{1}{220}$ となり得るのは、同じ色の玉を 3 個取り出したときであり、このときに限る。よって、確率が $\frac{1}{220}$ となるような玉の取り出し方は、「白色の玉を 3 個取り出す (このとき $X=9$)」の他に、「赤色の玉を 3 個取り出す (このとき $X=3$)」、「青色の玉を 3 個取り出す (このとき $X=6$)」、「黒色の玉を 3 個取り出す (このとき $X=-3$)」の 3 通り考えられる。

このうち、 $X=3$ となる玉の取り出し方として、他に「青色の玉を 2 個と黒色の玉を 1 個取り出す」という場合などもあり、 $X=6$ となる玉の取り出し方として、他に「赤色の玉を 1 個、青色の玉を 1 個、白色の玉を 1 個取り出す」という場合もある。

よって、 $X=m$ となる確率が $\frac{1}{220}$ となるような整数 m は、 $m=9$ 以外に $m=-3$ の **1 個** 存在する。